

教育プログラム プランニングシート

テーマ	ゾウの鼻はすごいゾウ！	担当者	長屋、萩原		
目標	ゾウの鼻の構造を主に学び、人とゾウとの違いやゾウに興味を深める。違いを発見し学び、さらに生活環境や環境の現状に興味を持ってもらいたい。				
対象	小学校全学年 参考になる単元：国語6年「イースター島にはなぜ森林が無いのか」、理科3年「動物のすみか」、理科6年「生物と地球環境」、国語2年「かんさつしたことをかこう」等				
場面	問題解決的展開	教育者(飼育員)の支援	考えの表現	子どもの学習活動	指導の視点 個 協 資
学 校 に て	事前学習	①テーマの導入 学習目標(学ぶこと)「ゾウの鼻のしくみ と くらし を探ろう」を教育者と子どもたちとで冒頭に確認する シートの目標とも対応			個 個 協
		ゾウは鼻をどんな時にどのように使うかな？	談話 身体表現	どんな場面を見たことがあるか 鼻でこんなことができそう	
	②予想や仮設	ゾウの鼻について 予想して絵を描いてみよう どう使うか考えてみよう 骨はあるかないか、先端はどんな形か、水はどのくらい入るか など	談話 描画記述紙①	クイズ形式で先生や児童に答えてもらい、予想や課題を出す 「なんであんなクネクネ動くの」「鼻は長くて邪魔じゃないのかな」	
③課題の見出し	みんなは鼻を何するときに使う？ ゾウは鼻をどうやって使って長いもの、大きいもの、小さいものを食べるかな。 水はどうするかな。 自分が見たいことは？	談話 記述紙②③	ゾウの鼻の使い方(用途)と人との違いを考える 自分はアジアゾウの〇〇を見たい！		
動 物 園 に て	観察学習	④観察と記録 ゾウへ実際に竹、ニンジン、ペレットを与えて食べる様子、鼻をどのように使用するかを観察してもらう。 その後実際に竹の枝を使用し、ゾウと同じようにちぎれるか体験してもらう	観察・実施	予想との違いや発見を周りと共有する	個 協 資
	事後学習	⑤結果の考察 感想を聞いてみる ゾウの力の強さ、鼻の器用さを考え、伝える 観察してわかったこと、気づいたこと、くらしや環境とのかかわりで考えて事を書いてもらう。	談話 描画記述紙④	竹を食べるときなど大きく硬いものは力が必要で巻き取って食べる 肢で竹の軸を踏んで固定し、枝を引きちぎる ニンジン・ペレットなど小さいものは鼻の先端を使用している 水が鼻で吸って口へ入れる、口で直接は飲まない、鼻はコップの役割 水を鼻に貯める、鼻を口の中へ入れる、少し頭を上にあげて飲む など	
	⑥知識の活用	さらに調べたいことや自分でやってみたいことは？ アジアゾウはどんな環境にくらしているかな？ こんな環境問題もあるよ 子どもがゾウの現状に興味がみられたら、その先の学習や資料を紹介したい ボルネオトラストジャパンのHPや情報など	談話 記述紙⑤	森林伐採、植林地化(プランテーション)大規模な農園開発、違法な居住地や 開発など熱帯林の劣化、減少の要因は様々ある。最終的にプランテーション が誰のためにあるのか・・・自分たち人間の生活に無意識に利用している (←少し難しいかもしれない) 自分(たち)のくらしと、アジアゾウのすみかは、こういう関係がある	個 資